



# Ledy Home Doctor

レディアホームドクター

[ホームページ <http://town.sanyo.oni.co.jp/ledya/doctor/>]

ご相談受け付けています。家族の病気のこと、女性ならではの体の悩みなど医師に聞いてみたいことをお寄せください。

☐郵送先 〒700-8634 山陽新聞社広告編集部「レディアホームドクター係」あて  
☐メール [ledya-doctor@sanyo.oni.co.jp](mailto:ledya-doctor@sanyo.oni.co.jp)

## Q&A

Q

ソケイヘルニア（脱腸）の手術ではメッシュを入れるそうですが、手術後はメッシュを取り出さなくても大丈夫なのでしょうか。

A

**メッシュ使用で術後の違和感を軽減  
安全性は確保され取り出す必要なし**

大人のソケイヘルニアは、本来ならおなかの中にあるはずの小腸などの一部が、太ももの付け根の下腹部（ソケイ部）の弱くなった筋膜の間から皮膚の下に出てくる病気です。内容物が出たり入ったりしている間は、ソケイ部に軽い痛みや突っ張り感が起こる程度です。しかし、内容物が飛び出して押さえても戻らなくなるとヘルニアの「カントン」といい、腸が腐る場合もあります。

ソケイヘルニアは手術をしないと治りません。従来は、ヘルニアが出てくる部分の両側の筋膜を縫って寄せる手術が行われていましたが、最近ではヘルニアの出口をメッシュという人工の膜でふさぐ手術が行われています。メッシュを使った手術では、体の組織に過度の緊張がかからないため、術後の突っ張り感や痛みが少なくなります。

メッシュはポリプロピレン製で、40年以上前から使用されています。体内使用の安全性は確立されており、通常は術後にメッシュを取り出す必要はありません。また最近ではメッシュの網目を大きくして軽量化したり、メッシュの約半分が溶けて吸収される素材のものもあり、術後の違和感などがさらに軽減されるようになっていきます。

ソケイヘルニアの症状のある方は早めに専門医を受診してください。

回答医師 **江田 泉** 先生



医療法人社団操仁会 岡山第一病院院長 医学博士  
1987年岡山大学医学部卒業、同第二外科に入局。公立雲南総合病院、府中総合病院外科部長などを経て、2008年4月より現職。ソケイヘルニアの日帰り手術などにも取り組んでいる。外科専門医。消化器外科専門医。

■岡山市中区高屋343 ■TEL.086-272-4088

URL:<http://www.okayama-dailichi.jp>